

## 分析及び対策について（学校評価アンケートより）

### A【情操豊かで、正しい判断力をもった生徒】

#### 【成果】

- ・球磨中生は、お互いに仲がよく、助け合い、励まし合う人間関係ができているということに肯定的な保護者、生徒がいずれも90%を超えている。
- ・球磨中は、いじめや問題行動等のない学校づくりに取り組んでいるに肯定的な教職員の割合が高い。
- ・球磨中は、雰囲気がよく、子どもたちが生き生きとしているということに肯定的な教職員、保護者、生徒がほぼ90%かまたは90%を超えている。
- ・球磨中生は、学校のきまりやルールを守っているということに肯定的な教職員、保護者、生徒は、ほぼ90%と高い。

#### 【課題】

- ・いじめや問題行動等のない学校づくりに取り組んでいるかについて、19%の生徒、3%の保護者が否定的であり、取組の強化が求められる。
- ・教育相談活動において、気軽に相談できるかについては、教師と生徒・保護者に、評価のズレが見られ、子供たちが、気軽に相談できる雰囲気づくりが望まれる。
- ・読書意欲について、教師と生徒・保護者では、評価にズレがある。読書活動の取組に工夫を加える必要がある。

#### 【対策】

- ・いじめアンケート(年1回)と学校生活全般に関する悩みアンケート(月1回)の実施
- ・教職員の人権意識の高揚を図る研修と生徒との教育相談の実施(学期1回)
- ・生活委員会による生徒の自主性を高めるあいさつ運動の充実
- ・朝読書と読書週間の充実及び図書委員会による読書活動の活発化、学級活動での取組

### B【深く考えて、創造力に富んだ生徒】

#### 【成果】

- ・授業における指導法の工夫改善に頑張っていると考える教職員の意識が高く、保護者60%、生徒70%近くは肯定的である。
- ・授業で、認め、ほめ、励まし、伸ばすような声かけをしていることに肯定的な教職員は100%であり、保護者、生徒もほぼ70%である。
- ・球磨中生の家庭学習の習慣化に肯定的な教職員はほぼ70%、保護者生徒は、ほぼ80%である。
- ・基礎学力の向上について、工夫してしっかり取り組んでいるという意識が教職員に高く、肯定的な保護者74%、生徒が84%と高い。
- ・体力づくりについて、100%の教職員が肯定的であり、保護者はほぼ90%、生徒は80%を超えて肯定的である。
- ・部活動の運営について、65%~80%の割合で、教職員、保護者、生徒が肯定的である。
- ・給食指導、保健・安全について、90%を超える高い割合で肯定的である。

#### 【課題】

- ・「分かる・できる・楽しい」授業づくりについて、教師と生徒・保護者の評価のズレが見られる。「分からない・できない・楽しくない」生徒への対応が必要である。
- ・家庭学習の習慣化についても、15%の生徒には、まだ課題が残っている。
- ・夢や目標を持たせることにおいても、20%の生徒への対応が求められている。部活動について、楽しくないという15%の生徒、認められていないと感じる27%の生徒への対応も求められる。

#### 【対策】

##### <授業改善>

- ・ICTを活用した主体的で深い学びの形成
- ・わかりやすい授業のための教材開発と教材研究
- ・実態に応じて、課題を明確化した授業展開

##### <指導力の向上>

- ・校内研修の実施(学力向上の(PDCA)検証改善サイクル)
- ・一人一回の研究授業の実施(授業で勝負!)

#### <家庭学習の定着>

- ・家庭学習の手引きを活用した学習指導、家庭学習（予習・復習）と関連した授業づくり
- ・自学ノートによる家庭学習の習慣化、定期テストに向けた計画作成
- ・学年PTA、学級便り等での啓発

#### <補充学習の実施>

- ・長期休業中の学習会の実施
- ・放課後学習会の実施
- ・地域未来塾（中3対象）の実施

#### <キャリア教育の充実>

- ・夢や目標の大切さを学ぶ講話、学級活動や体験学習の充実
- ・将来を見通した上での日々の努力の大切さを感じられる総合学習・道徳教育の充実

#### <部活動の充実>

- ・部活動における生徒一人一人の役割の充実を図る
- ・部活動における目標づくり（仲間との協調や精神力の育成など）を行う

### C【学校を愛し、郷土を愛し、日本人としての自覚を持った生徒】

#### 【成果】

- ・球磨中は、学校は楽しいと感じる教育活動を推進しているということに肯定的な教職員は100%であり、保護者は85%、生徒はほぼ80%であり、高い割合である。
- ・職員が、地域の声を受け止め教育活動の改善に生かしているかについて肯定的な職員は100%であり、70%の保護者が肯定的である。
- ・校地校舎の整備について85%を超える割合で教職員、保護者、生徒とも肯定的である。
- ・PTA活動について、肯定的な保護者は90%を超え、生徒も80%と高い肯定率である。
- ・保小中の連携について、90%を超える教職員、保護者が肯定的である。
- ・学校の情報発信について、80%を超える高い割合で、教職員、保護者、生徒が肯定的である。

#### 【課題】

- ・保護者・地域の方の意見を受け止め、教育活動等の改善に生かすことについて、評価のズレが大きい。
- ・今後とも意見を収集し、それを生かすことが求められる。また、校舎内外の掲示の工夫も求められている。

#### 【対策】

- ・コミュニティスクール導入による地域連携本部の活性化
- ・PTA本部役員会やPTA学級学年懇談会における意見収集の努力
- ・学校運営協議会推進委員会による意見収集
- ・校舎内外の掲示についての計画的な実施と生徒会活動への連携